

地域協議会だより

発行日 令和元年10月1日
第56号
発行人 清里区地域協議会
会長 笹川 幹男
編集委員 島田 敏雄
羽深 正

地域協議会報告

4区地域協議会委員合同研修会

6月29日(土)

会場 牧区 新柳

★講師

○糸魚川市 上南地区地域づくり協議会会長 伊藤 幸雄氏

★講師経歴

平成20年から上南地区公民館長、平成23年から上南地区区長会会長、平成24年から上南地区地域づくり協議会会長を歴任、平成30年全国農業祭「豊かな村づくり」部門で農林水産大臣賞を受賞

★演題

○資源と人材を活かした地域づくり

★上南地区での取組について

地域づくりの実践団体であり、目標は地域が栄えること。上能生と南能生地区が合併し上南という地区の名称になった。上南という地名を自分たちのものにするのに7年かかった。

スキー場とゴルフ場があり、

地域の雇用の場となつている。外から移住者が移り、活力を与えているとともに、地域の方に来ることを自ら申し出て地域の活動に協力している。



講演会の様子

研修会に参加して

三原田 裕子

二回目の開催となった4区合同研修会は、委員の自己紹介を兼ねたスピーチからも日頃の活躍が伺え、意義のあるものでした。また、講師のお話の中で活動内容が盛りだくさんで、旧能生町10集落、280世帯、人口700人、高齢化率47%の地区において、無いものは新たに作りだす、有るものは活かした活動を基礎に花壇の植栽、クリ

ーン作戦を通して地域を明るくし、マップ作成による地区紹介、年間9千人が訪れる農家キッチン運営、9人の高齢者が手掛けるゼンマイ加工場、青少年育成のための取組、集落サロンの実施等、地域を元気づけようとする意欲的に取組まれている姿に敬服しました。

令和元年度視察研修

【7月26日(金)】

視察先 長野県木島平村

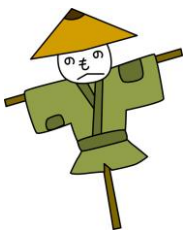
★研修内容

○地域おこし協力隊の受入れ体制、業務内容、任期満了後の状況について

これまでに18名の地域おこし協力隊を導入し、定住した人が6名、今現在は6名の隊員が活躍している。

住居は全て村で準備し、アパートや空き家などを活用している。

○村営バスの運営について
デマンドバスとシャトルバスの財政措置として、約千八百万円の経費がかかっている。



路線バスが運行していた時期は、木島平村と飯山市の2市村で運行経費を延長割しており、路線バス運行の方が経費が安かった。しかし、市営バスの方が利便性が高く、現在の制度を続けている。

○移住支援・空き家の利活用について
村では移住PRとPRに基づいた相談業務、空き家バンクの管理、移住体験住宅の管理を現在実施している。

3年くらい前から本格的に移住定住策を進めている。使用料収入でランニングコストはほぼ回収できているが、住宅建築費までは賄えない。



木島平村での研修会の様子

視察研修に参加して

島田 敏雄

今回の視察研修は木島平村で地域おこし協力隊の受入れ体制と終了後の状況について説明を受け、女性隊員が頑張っており取り組んでいることに感心しました。

また、村営バスの運行については、地域も交通弱者の足の確保ということで、デマンドバス、シャトルバスの運行形態を維持し利用者と運行時間の調整を図り運営していました。

田舎暮らし体験住宅では低廉な価格設定により、利用者の増加があり、古民家を利用した「郷の家」では昔ながらの茅葺の家を保存・活用し、生涯学習活動や語り部、各種研修会に活用されており、効果的な利用がされていました。

桑原 正史

猛暑の中、木島平村へ視察研修に行つて来ました。

スキー場、温泉等豊富な観光資源を背景に、地域活性化に取り組む当地の地域おこし協力隊の受入れ状況、村営バスの運

営、移住支援、空き家の利活用について学びました。

「上越市の大きな枠の中で、清里をどの様にPRして行くかが課題では」村担当者の方のこの発言が印象に残りました。「上越市の中の清里」をいかに発信していくかについて、考えさせられた今回の視察研修でした。



移住定住ハウスの視察

上原 澄雄

今回は、地域おこし協力隊の活動、公共交通の取組、空き家対策について、木島平村へ視察研修に行つて来ました。

人口約5千人弱の村ではありますが、スキー場やスノーパーク、コンビニが設置されており、人口減少に伴い、空き家の増加、

路線バスの廃止と、当地区と同様な課題を抱えています。

地域おこし協力隊のその後、移住、空き家の活用、タクシー会社によるデマンドバス、シャトルバスの運行と、今後、清里区が取組んで行くべき課題の先駆けとしての事業を目的の当たりし、今後の取組の参考にしていきたいと感じました。

浦井 博道

今年度は長野県木島平村へ視察研修に行つてきました。地域おこし協力隊の活動、人口減少対策、空き家対策を研修しました。木島平村はスキー観光と温泉施設がある点を除いては、農業を中心とした産業構造は一緒だと感じました。

全国的な問題でもありますが、過疎化問題を抱える木島平村では転入人口の増加を図る目的で移住体験型住宅を整備し、積極的なPR活動を行っていました。

近い将来清里区でも実施される予定の市営バスの運行については、十分な検討が必要と考えます。いずれにしても人口減少対策や交通弱者対策等は

清里区だけの問題ではなく、全市的なことであり、行政の積極的な施策を望むところです。



山川 正平

今年度の視察研修は平均寿命女性一位、男性二位、移住希望地として全国で高ランキングを維持している信州の木島平村に行つて来ました。

住民の幸福度も上位にある魅力的な村も少子高齢化も進み空き家対策として、田舎暮らしの体験住宅を建築し村内への移住促進を図っていました。

少子高齢化に伴う公共交通機関の廃止により、平成18年度から自宅から目的地までのデマンド便とバス停からバス停までのシャトルバス便を村営バスとして運営し、年間二千万円ほどの経費を要しておりました。当地域においても公共交通の見直しが進められており、観光資源の少ない地域ですが是非、市営バスの運行が必要であると感じました。

編集雑感

羽深 正

最近の気象はどうなっているのでしょうか？夏の異常なほどの高温、雨が降り出したら何日も続きますし、これも地球温暖化の影響でしょうか。私も日常生活で環境の事を今一度考え直さなくてはいいけない時だと思ふこの頃です。

先日、行われました上越市の総合防災訓練に自衛隊、消防署その他関係機関が参加されました。関係者の皆様大変、苦勞様でした。

災害は忘れた頃にやってくるというものです。日頃から備えてくなくてはいいけないことです。

地域協議会も本年度末で改選となります。皆様も清里区の活性化、地域振興の一員として議論の仲間になってもらえれば幸いです。

